
日本経済展望

2018年2月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334	Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
トピックス	根本 寛之		
金利	根本 寛之	(Tel: 03-6833-8913	Mail: nemoto.hiroyuki@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ（現状分析）	佐藤 聡一郎	(Tel: 03-6833-6255	Mail: sato.tp28222@jri.co.jp)

本資料は2018年1月31日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

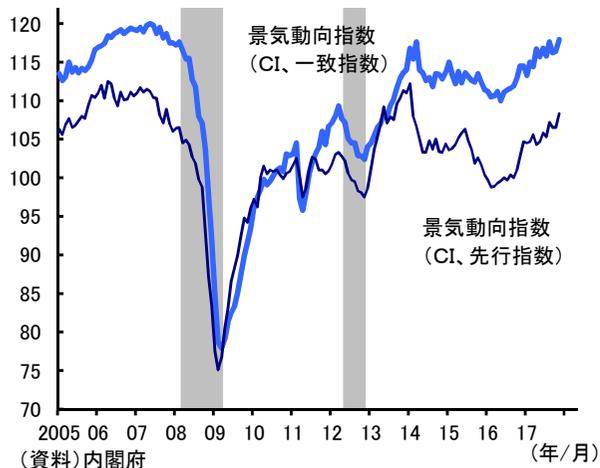
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は回復基調

景気

一致指数は、生産財の出荷増加を受けて上昇し、2007年10月以来の高水準

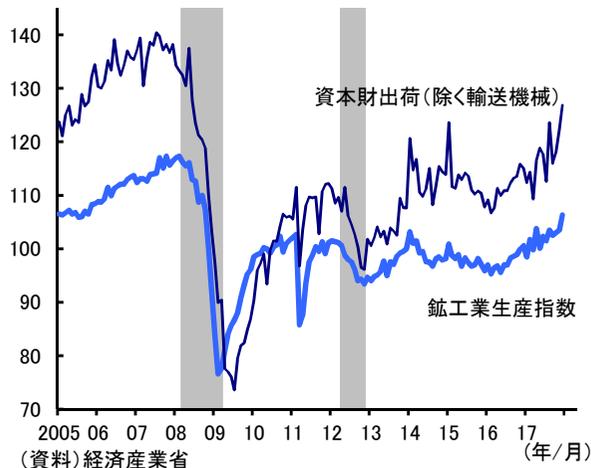
(2010年=100)



企業

生産、資本財出荷ともに振れを伴いながらも増加基調

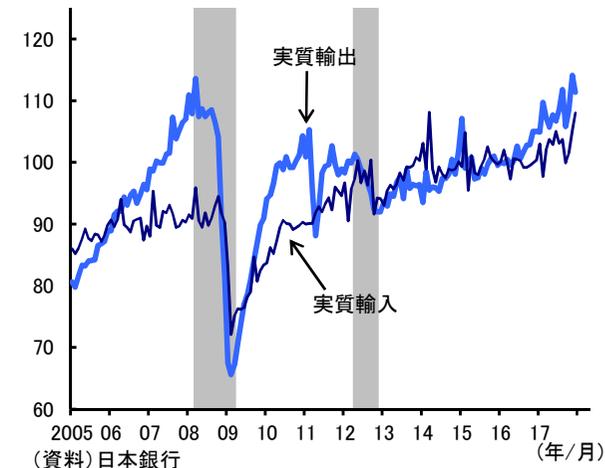
(2010年=100)



外需

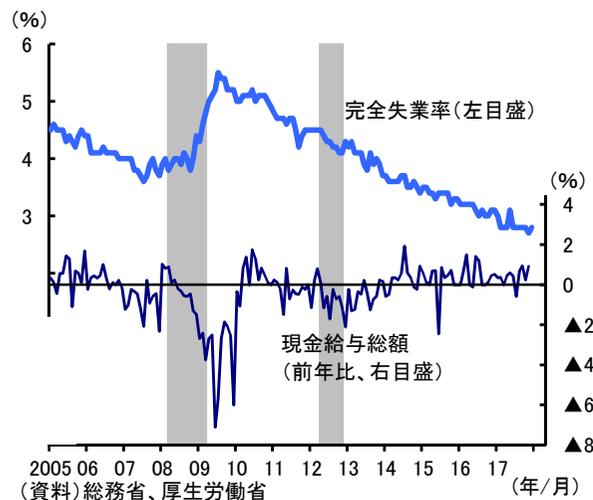
輸出は米国向けなどで増勢が一服
輸入は3ヵ月連続で増加

(2015年=100)



雇用所得

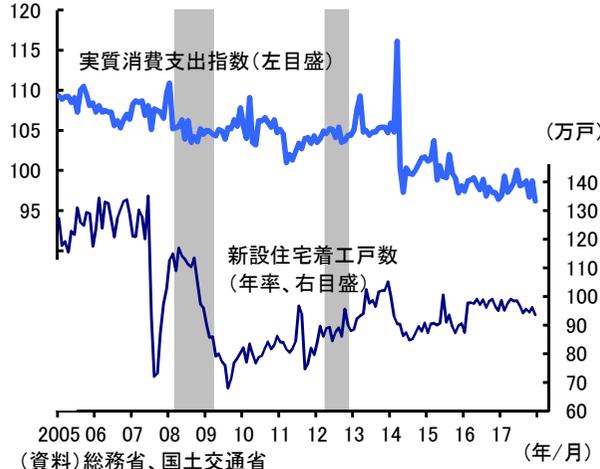
失業率は低水準で推移
名目賃金は小幅プラス圏で推移



家計

実質消費は一進一退の動き
住宅着工は横ばい

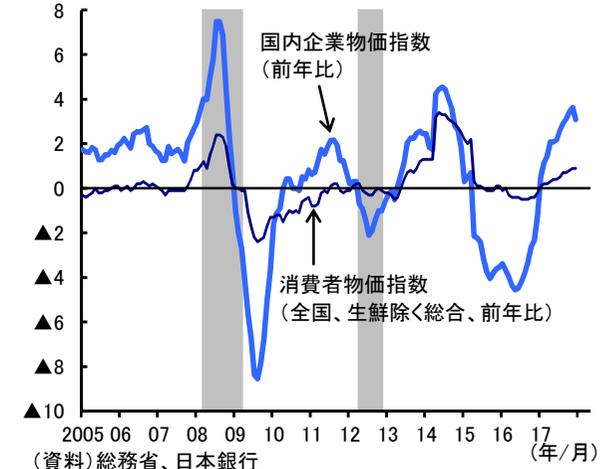
(2015年=100)



物価

原油価格の上昇を受け、国内企業物価、
消費者物価ともに上昇

(%)



※シャドー部は景気後退期

企業部門で生産が増加する一方、家計部門も緩やかに回復

◆景気は回復基調が持続

12月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、4ヵ月連続で判断の分かれ目となる50を上回って推移。家計動向関連のDIが2ヵ月連続で50を上回ったほか、企業動向関連も高水準での推移が持続。

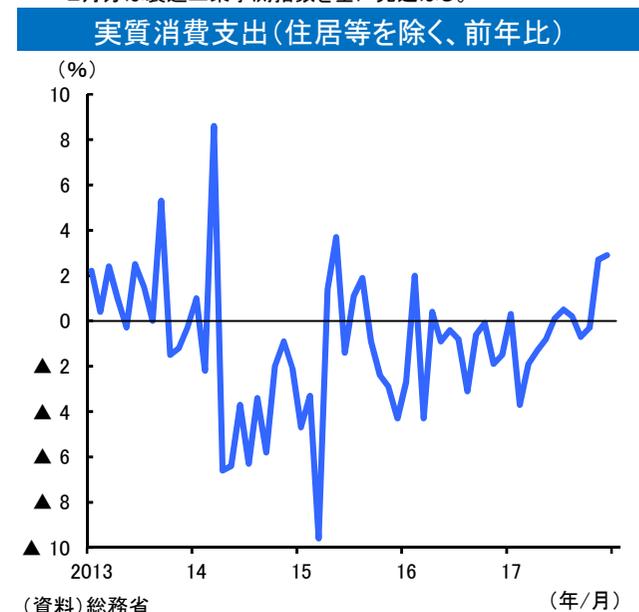
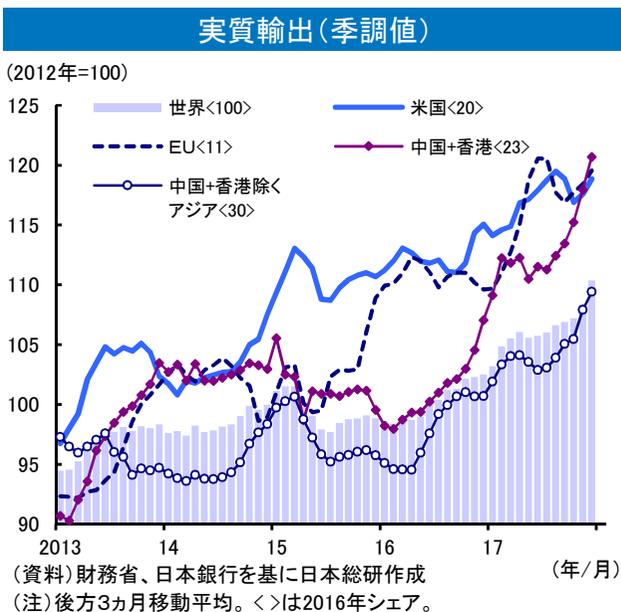
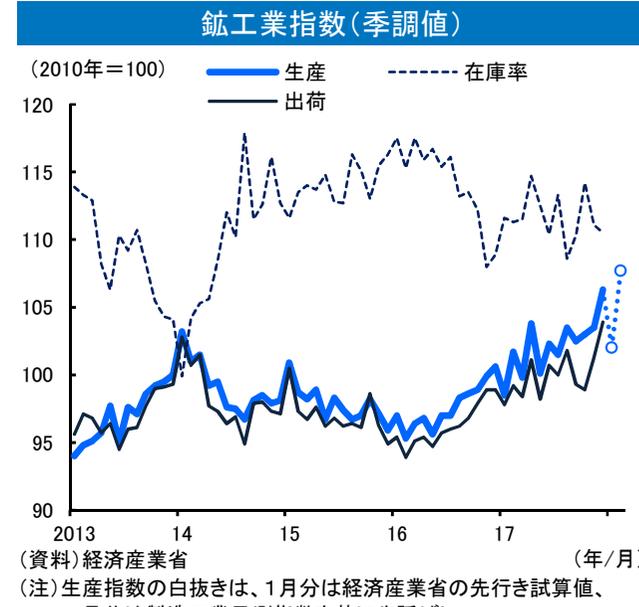
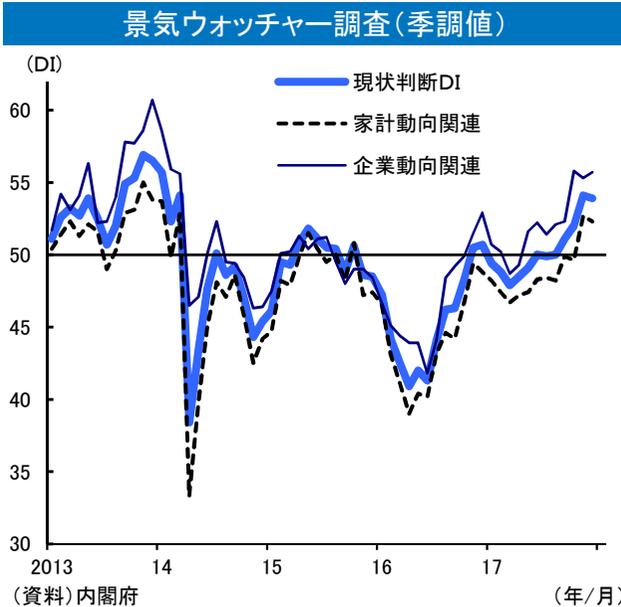
◆生産の増加基調に変化なし

企業活動をみると、12月の鉱工業生産指数は、前月比+2.7%と3ヵ月連続で上昇。自動車や自動車部品、建設機械など、幅広い分野で上昇。1月の生産見通し（経済産業省先行き試算値）は、同▲4.3%と大幅低下となっているものの、年初は季節調整が不安定になるというテクニカルな要因が影響している可能性があるため、過度の懸念は不要。2月の予測指数が同+5.7%と大幅上昇となる見通しのため、全体としては増産傾向が続いていると判断。

輸出は増加基調。地域別にみると、中国を中心としたアジア向けの半導体等製造装置が増加したほか、大手自動車メーカーの現地生産終了を背景に豪州向けの自動車も増加。

◆家計部門も持ち直しの動き

12月の実質消費支出（二人以上の世帯）は、前年比▲0.1%と小幅減少。もっとも、高額で振れが大きい住居や自動車等購入などを除いた実質消費支出は、前年比+2.9%と増加。雇用所得環境の改善が続くなか、家計調査ベースの個人消費にも持ち直しの動き。



外需は増加基調

◆インバウンド需要は回復傾向

外需動向をみると、まず、インバウンド需要は回復傾向が持続。2017年の訪日外国人旅行消費額は4.4兆円と、前年比+17.8%の増加。訪日外客数は2,869万人と、前年比+19.3%の増加。1人当たり消費額は、年前半は前年割れとなったものの、後半はプラス転化。

先行きは、アジア新興国の所得拡大の持続、宿泊施設増加など受け入れ環境整備の進展などから、インバウンド需要は引き続き堅調を維持する見込み。

◆財輸出は増加基調が持続

2017年の貿易収支は+3.0兆円と、前年比▲25.2%の黒字幅縮小。輸出価格、数量ともにプラス寄与となったものの、原油価格の持ち直しや円安等による輸入価格の上昇によるマイナス寄与が要因。

一方、輸出は世界的に貿易量が拡大するなか、増加基調が持続。

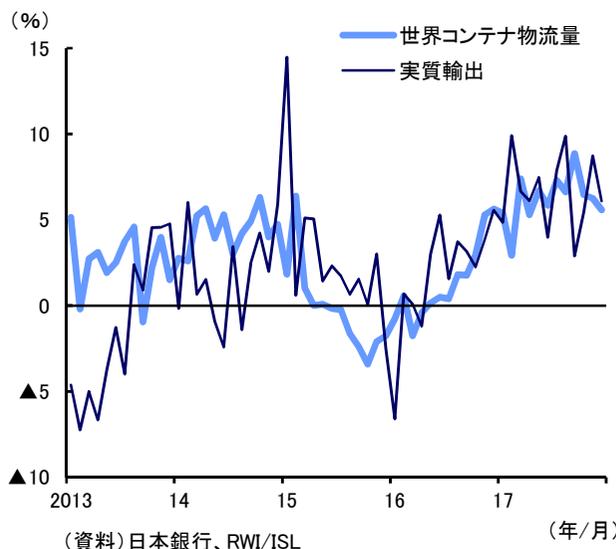
品目別にみると、世界的な需要拡大を受けた、電子部品・デバイス類や資本財が引き続きけん引。先行きも、スマートフォンの高性能化、クラウド化に伴うデータセンター需要の高まり、IoT、車載関連などの需要拡大にけん引され、電子部品・デバイス類の輸出は高水準で推移する見込み。資本財も、世界の製造業における生産活動の活発化が続くなか、堅調を維持する見込み。

訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



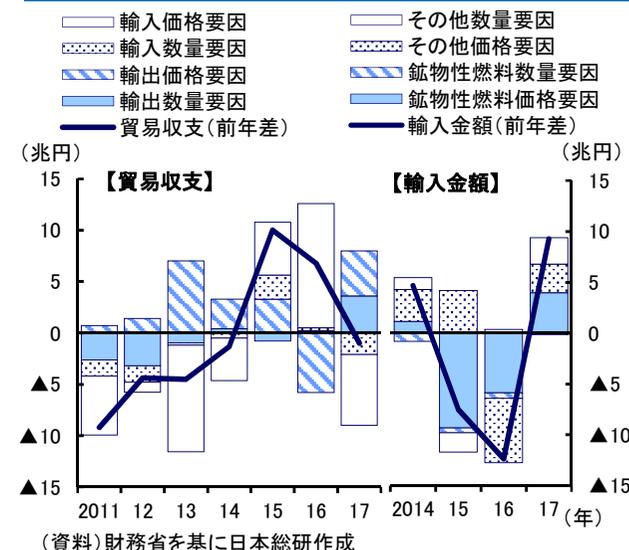
(資料)観光庁、政府観光局、日本銀行

世界コンテナ物流量とわが国実質輸出(前年比)



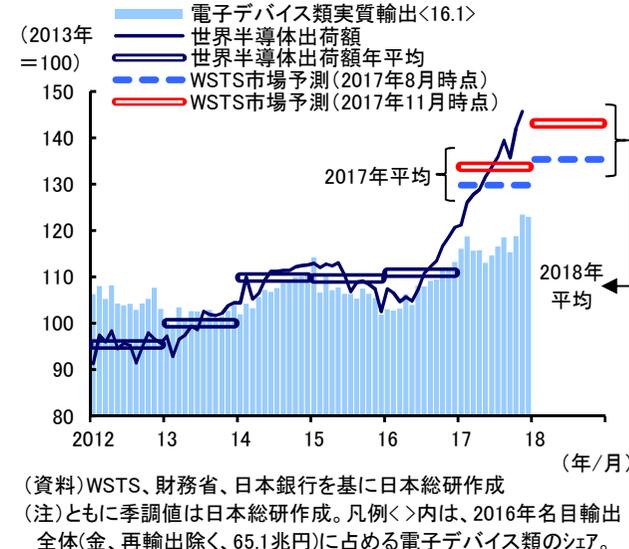
(資料)日本銀行、RWI/ISL

貿易収支と輸入金額の要因分解



(資料)財務省を基に日本総研作成

世界半導体出荷額と電子部品デバイス類輸出



(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注)ともに季調値は日本総研作成。凡例<>内は、2016年名目輸出全体(金、再輸出除く、65.1兆円)に占める電子デバイス類のシェア。

企業収益の改善により、設備投資は増加基調

◆企業収益は改善

企業収益は改善傾向が持続。売上高経常利益率も、バブル期を上回る高水準。

人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加が収益下押し要因になるものの、これまでの事業再編等の取り組みの結果、損益分岐点比率が大きく低下するなど、企業の収益体質は改善。この結果、売上高の増加がダイレクトに利益押し上げにつながる状況。

先行きも、内外需要が堅調に拡大するほか、中期的には円安基調が続くとみられるため、企業収益は底堅く推移する見込み。

◆設備投資は増加基調

設備投資は、キャッシュフローが潤沢ななか、人手不足を背景とした合理化・省合理化投資などを中心に持ち直し。

一部の成長分野で前向きな投資も増加。インバウンド需要の増加を受けた宿泊施設、ネット通販の拡大に伴う高度物流施設、中核都市での再開発事業などを背景に、建設投資が堅調。インバウンド需要の増加は、化粧品等の非耐久消費財製造業の設備投資も促進。

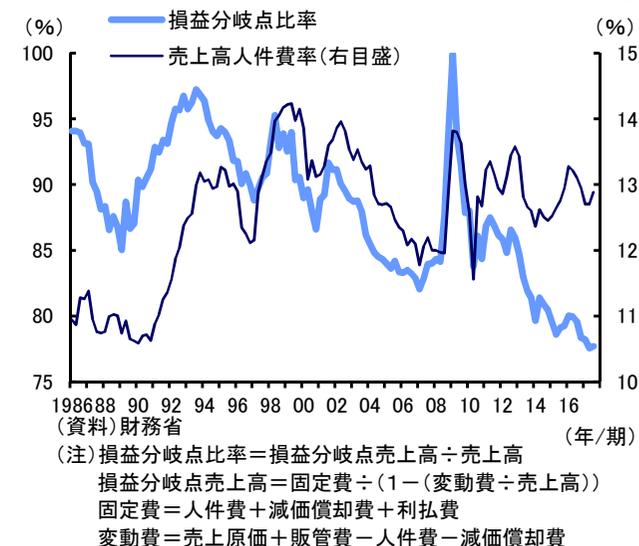
AI、IoT、自動運転など、新技術に対応するための研究開発投資も下支え。

もっとも、企業の国内市場への成長期待が高まっていないため、能力増強投資の広がりには限定的。

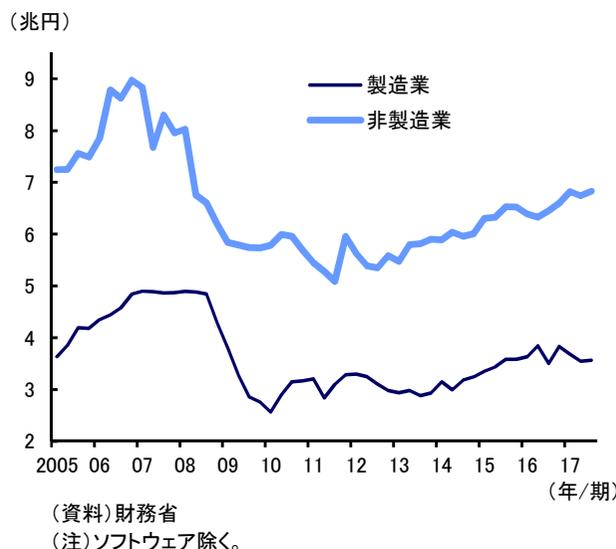
売上高経常利益率と企業景況感



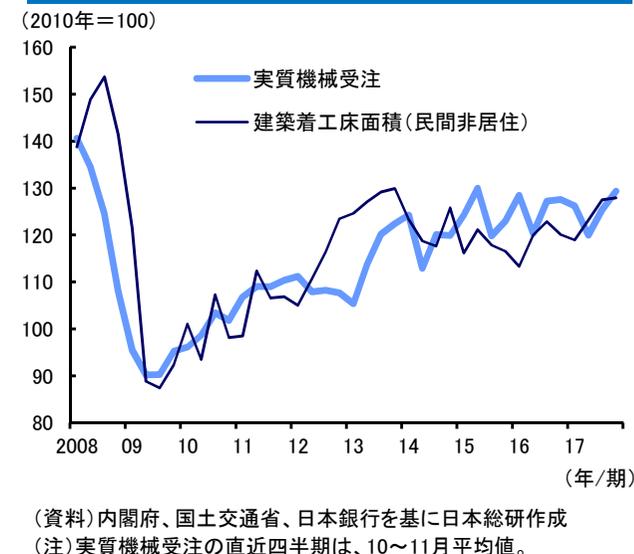
売上高人件費率と損益分岐点比率



法人企業設備投資額(季調値)



設備投資先行指標(季調値)



所得の回復は緩慢

◆改善続く雇用情勢

雇用情勢は改善傾向。2012年11月に始まった今次景気拡大局面では、15歳以上人口が増えないなかでも、就業者数がバブル景気以来のハイペースで増加。労働投入量も、2014年初以降、フルタイム雇用を中心に増加が持続。

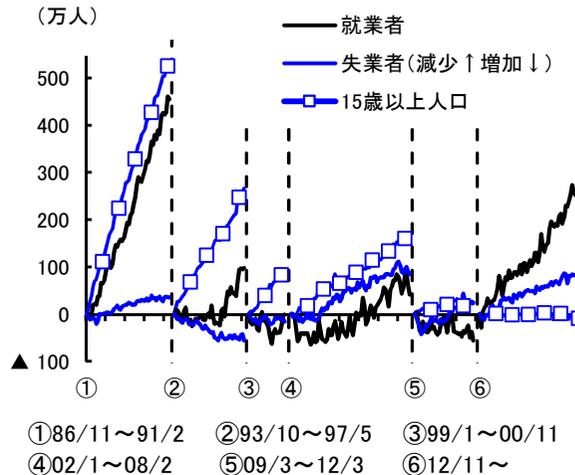
賃金も、人手不足が特に深刻な運輸業、建設業や、転職者を中心に上昇傾向。もっとも、賃金引き上げに動いているのは、企業規模別にみると、人手不足がより深刻な中小企業、業種別にみると、宿泊飲食、福祉、卸・小売など、いずれも賃金水準が相対的に低い企業が中心。そのため、平均賃金の押し上げ効果は限定的。

◆所得の回復は緩慢

先行きを展望すると、景気の回復基調が維持されるもと、雇用情勢の改善は続く見込み。また、人手不足と企業収益の改善を背景に、賃金の上昇圧力が高まる方向。2018年度の春闘では、賃金引き上げ機運が高まりつつあり、2017年度を上回る賃上げ率となる見込み。

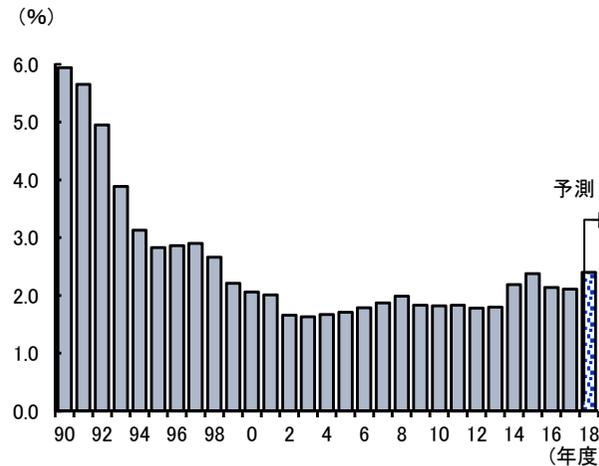
もっとも、政府が目指す3%まで賃金上昇ペースが加速することは期待薄。消費者物価が前年比プラスを維持することも、家計の実質購買力に対する下押し圧力として作用。このため、実質所得は引き続き緩やかな回復にとどまる見込み。

景気拡大局面別の人口、就業者数、失業者数



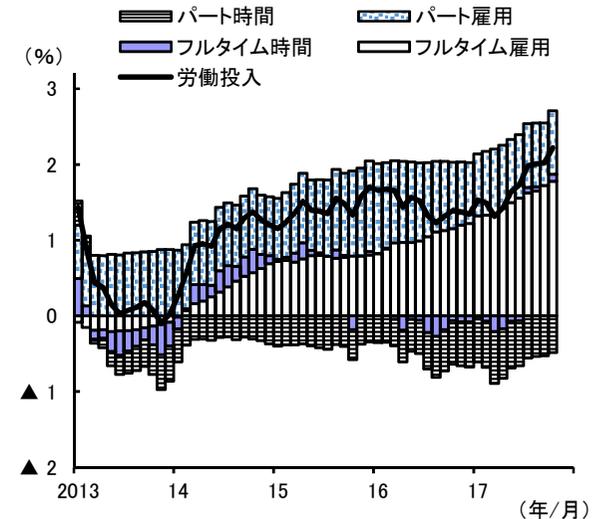
(資料)総務省「労働力調査」
(注)景気の谷以降の変化幅。

春闘賃上げ率



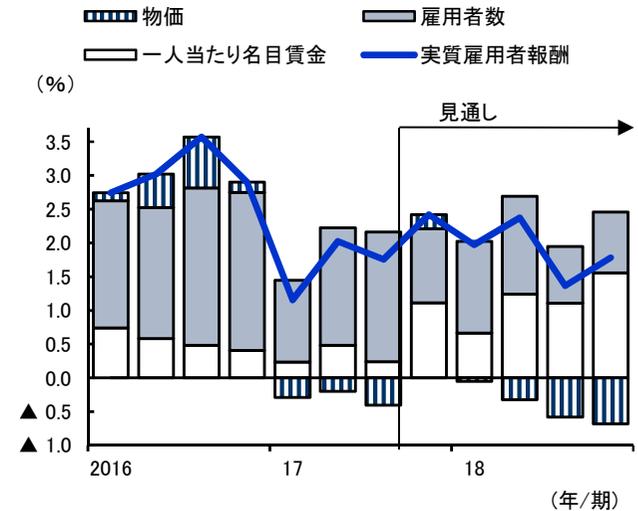
(資料)厚生労働省
(注)大手企業を対象とした集計。予測は日本総研。

労働投入量(前年比)



(資料)厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

雇用者報酬(前年比)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

個人消費は持ち直しの動き

◆個人消費は持ち直しの動き

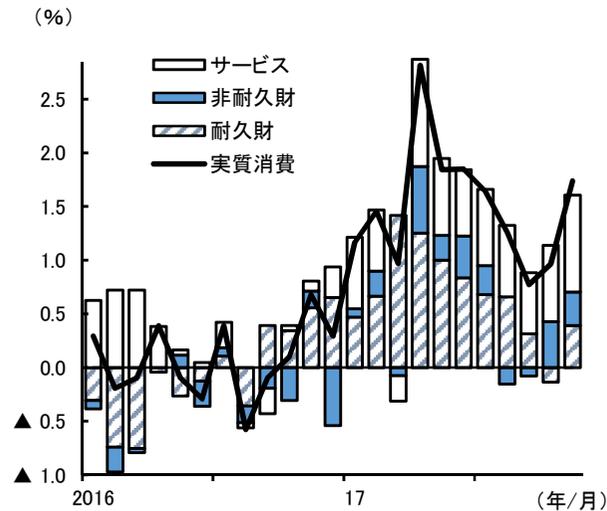
個人消費は、足許で持ち直しの動き。2017年秋口に表面化した乗用車の不正検査問題等を受けて落ち込んだ耐久財が回復に転じたほか、サービスも、通信、医療福祉、外食などにけん引されてプラス幅が拡大。また、食料品を中心とした非耐久財では、2016年度に下火となっていた新製品投入で売上げ確保を図る動きが2017年度に再び顕在化。

◆引き続き緩慢な消費回復

先行きを展望すると、雇用所得情勢の改善が、消費押し上げに作用する見込み。消費者マインドは冬場の生鮮食品の値上がりにより、足許でやや弱含むも、株価の上昇を主因に堅調を維持。

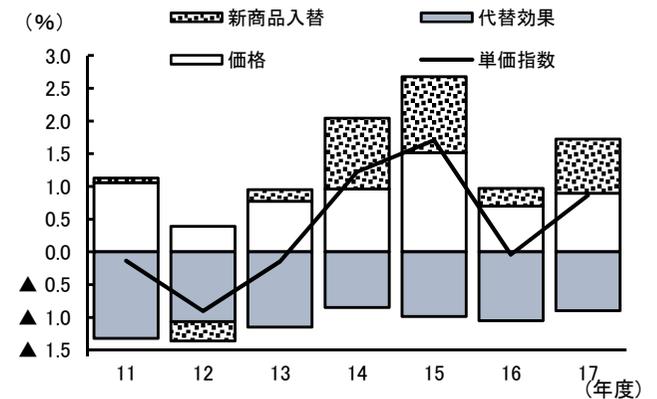
一方、住宅投資については、当面、弱含む見通し。個人貸家業向けを含め、住宅ローンの新規貸出額が前年比マイナスに転化。住宅投資下支えの要因となってきた低金利は、依然として続いているものの、貸家では、サブリース契約の問題化や、空室率の上昇にみられる供給過剰懸念などを背景に停滞色の濃い展開。

日銀消費活動指数



(資料) 日本銀行

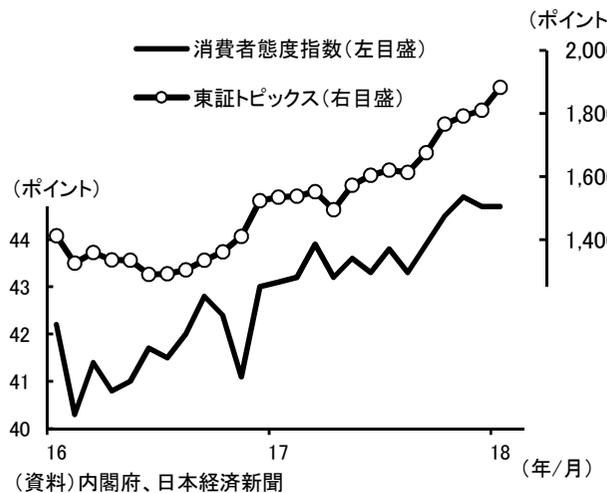
消費者購買単価指数 (前年比)



(資料) 一橋大学消費者購買単価指数

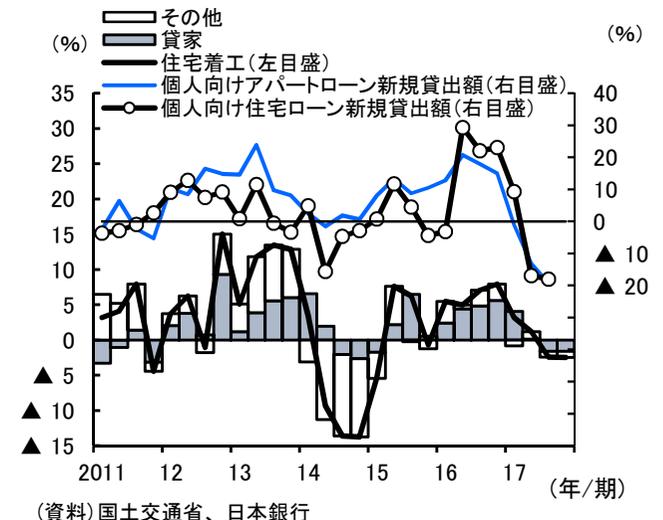
(注) 各年週次データの単純平均。2017年度は1月第3週までの平均。価格は継続商品の価格変化(物価変動に相当)、代替効果は継続商品内で割安商品の販売が伸びる効果。新商品入替は、継続商品より高い新商品導入と低い商品の消滅の影響。たばこを除く。

消費者マインドと株価



(資料) 内閣府、日本経済新聞

住宅着工件数と個人向け住宅ローン(前年比)



(資料) 国土交通省、日本銀行

トピックス：日本銀行によるETF買入政策の影響

◆ETF買入政策は株価を押し上げ

日本銀行は、株式市場を下支えするため、2010年12月にETF買入政策を開始。株価上昇を通じた企業の資金調達環境やマインドの改善により、設備投資や個人消費を活性化させ、2%のインフレ目標の達成に寄与することが狙い。現在、年約6兆円の買入を実施しており、2017年末には、買入総額が時価総額で約22兆円

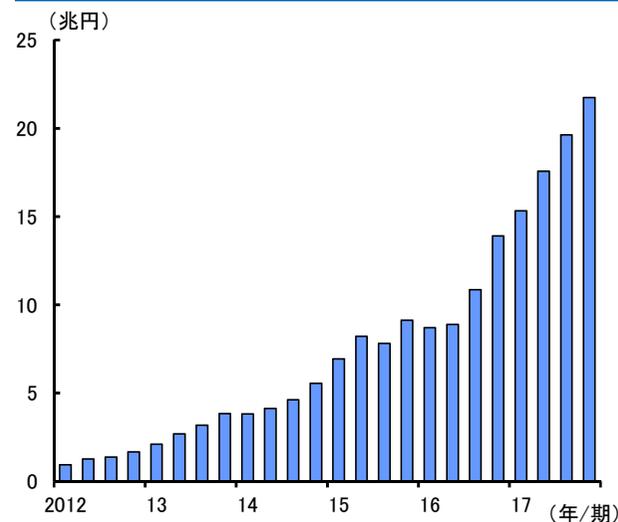
(東証一部の時価総額の3.2%に相当)に到達。

ETF買入政策導入後、わが国株価は、世界景気や為替相場などのファンダメンタルズ要因で説明できる水準から上振れ。この一部はETF買入政策による株価押し上げ効果と見ることが可能。一定の前提のもとで推計すると、2017年末時点の日経平均株価22,765円のうち、約1,900円が押し上げ分と試算。

◆先行きも株価押し上げ効果が期待可能

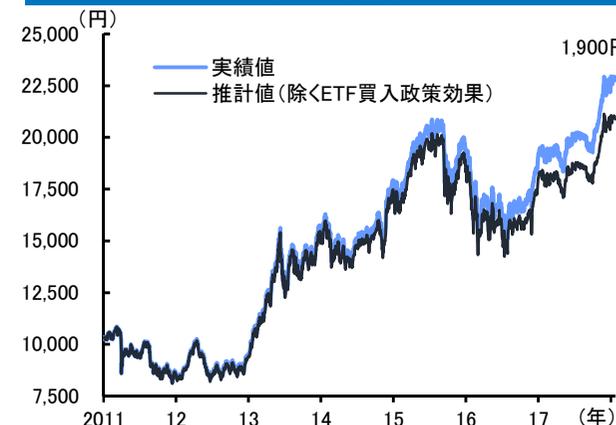
ETF買入政策は一定の成果があったと見込まれるものの、2%インフレ目標の達成にはほど遠い状況。これは、景気が拡大しても物価が上がりにくい経済構造に変化したことが一因。インフレ目標の達成が見通せない状況下、日銀は今後も年6兆円ペースのETF買入を続けた場合、これにより、わが国株価は毎年500円程度押し上げられる見込み。

日銀によるETF累積買入額(時価評価)



(資料)日本銀行、QUICKを基に日本総研作成

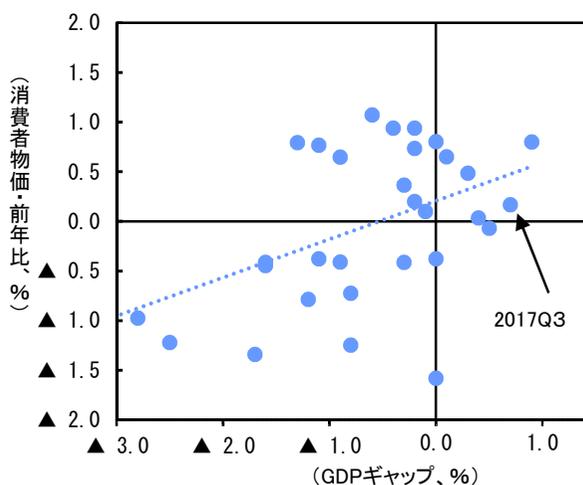
日経平均株価



(資料)Bloomberg L.P.を基に日本総研作成

(注)日経平均株価を被説明変数、ETF累積買入額比率、円ドルレート、S&P500を説明変数とする長期均衡式を推計。ETF累積買入額比率はETF累積買入額が時価総額に占める比率。これ以外の変数は対数値。

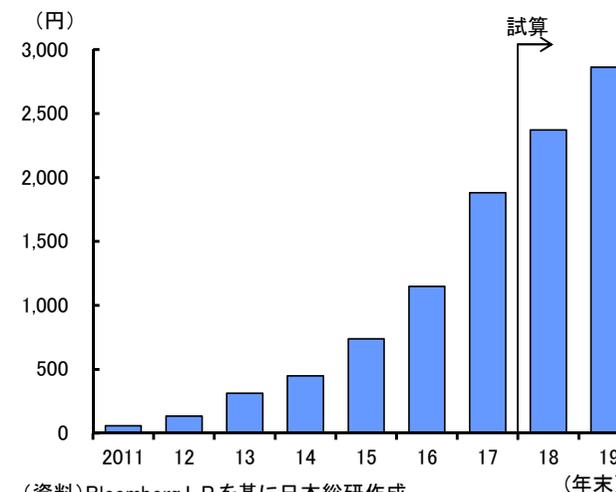
GPIとGDPギャップ(2010-2017Q3)



(資料)内閣府、総務省を基に日本総研作成

(注)消費者物価は、生鮮食品・エネルギー・消費税を除くベース。

ETF買入政策による株価下支え効果(累積)



(資料)Bloomberg L.P.を基に日本総研作成

(注)年6兆円ペースの買入が継続するとしたほか、2018年末の日経平均株価を23,000円、2019年末を23,300円と想定。

底堅い内外需を背景に、緩やかな回復基調が続く見通し

◆潜在成長率を上回る成長が持続

わが国景気の先行きを展望すると、当面は、企業の在庫復元の動きが一巡することなどを背景に成長ペースが鈍化するものの、国内民需は底堅く推移する見込み。設備投資は、都心部の再開発や宿泊施設、物流施設の新設といった建設投資に加え、製造業を中心とした研究開発投資の増加を背景に、プラス基調が続くとみられるほか、個人消費も、雇用所得環境の改善や、株価の上昇などに伴う消費者マインドの持ち直しが下支えに作用。外需も、世界的な設備投資意欲の改善などを背景に、輸出の増加基調が続く見込み。

結果として、2017年度および2018年度は、内外需ともに底堅く推移することで、1%程度とみられる潜在成長率を上回る成長が続く見通し。

◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度には、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率が鈍化。もともと、今回は2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%近い成長は維持できる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2018年1月31日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
	7~9 (実績)	10~12 (予測)	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2016年度 (実績)	2017年度 (予測)	2018年度	2019年度
実質GDP	2.5	0.9	0.7	1.0	1.2	1.3	1.4	1.4	2.5	▲ 3.7	1.3	1.2	1.8	1.2	0.9
個人消費	▲ 1.9	0.7	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1	1.6	5.2	▲ 9.1	1.3	0.3	1.1	0.8	0.6
住宅投資	▲ 4.0	▲ 2.6	▲ 0.4	▲ 0.2	0.8	3.2	6.4	1.9	▲ 3.1	▲ 9.8	▲ 7.2	6.2	1.7	0.3	▲ 0.3
設備投資	4.3	3.1	2.6	3.1	3.1	2.9	2.8	2.6	2.6	2.4	2.4	1.2	3.5	3.0	2.7
在庫投資 (寄与度)	(1.5)	(0.0)	(▲ 0.2)	(▲ 0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲ 0.3)	(0.0)	(0.0)	(▲ 0.1)
政府消費	0.2	1.0	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.6	0.8	0.8
公共投資	▲ 9.2	▲ 4.3	▲ 4.1	▲ 1.8	0.0	0.5	▲ 1.2	▲ 0.6	0.2	0.5	0.3	0.9	1.0	▲ 2.2	▲ 0.2
純輸出 (寄与度)	(2.0)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.4)	(1.1)	(▲ 0.0)	(0.8)	(0.5)	(0.2)	(0.1)
輸出	6.0	3.3	2.4	2.7	2.9	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	3.4	5.0	3.0	2.8
輸入	▲ 6.2	2.6	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.7	5.3	▲ 3.2	2.8	▲ 1.1	2.4	1.9	2.3
名目GDP	2.2	2.0	2.4	1.9	1.6	1.6	1.9	1.9	2.4	1.6	1.7	1.0	1.9	1.8	1.9
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	1.3	1.3	▲ 0.2	0.1	0.6	1.0
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.9	2.0	2.1	▲ 0.2	0.7	0.8	1.5
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.9	1.1	1.1	▲ 0.2	0.7	0.8	1.0
鉱工業生産	4.1	4.5	3.0	1.9	1.5	0.2	1.5	0.8	0.6	0.6	0.6	1.1	4.4	1.3	0.7
完全失業率 (%)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	3.0	2.8	2.7	2.6
経常収支 (兆円)	7.02	4.41	5.90	4.87	7.24	4.28	6.70	5.27	7.54	4.88	7.53	20.38	21.90	23.09	25.23
対名目GDP比 (%)	5.2	3.1	4.3	3.5	5.3	2.9	4.8	3.8	5.4	3.3	5.3	3.8	4.0	4.1	4.4
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	111	112	112	113	113	113	112	112	111	108	112	113	112
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	63	61	62	62	63	63	63	63	47	57	62	63

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

(注)2018年1月31日公表の2017年10~12月期1次
QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年 (予測)	2018年	2019年
米国	2.3	2.5	2.1
ユーロ圏	2.5	2.1	1.7
中国	6.9	6.6	6.5

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度 (予測)	2018年度	2019年度
11月号	1.5	1.1	
12月号	1.5	1.2	0.9
1月号	1.8	1.2	0.9

物価は前年比+1%近傍、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は上昇局面へ

コアCPIは、2017年1月に前年比プラスに転じた後、プラス幅を拡大。エネルギー価格のほか、生鮮食品を除く食料の上昇が全体を押し上げ。

先行きは、エネルギー価格の騰勢が鈍化するものの、マクロ的な需給環境の改善などを背景に、前年比+1%近傍の推移が続く見通し。

◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、2018年1月の金融政策決定会で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢を継続。

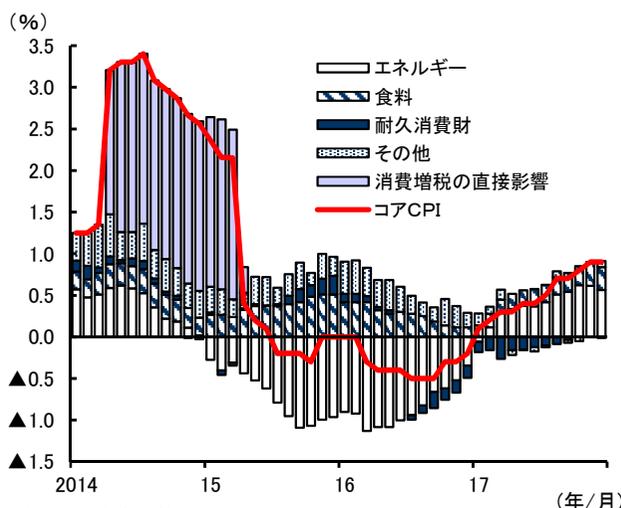
政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、日銀の緩和縮小観測等を背景に一時、上昇圧力が強まったものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、基調としては概ね横ばい圏内で推移。

先行きを展望すると、米国長期金利の上昇に伴う上振れ圧力の高まりが予想されるものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0%近辺での推移が続く見通し。

コアCPI(前年比)



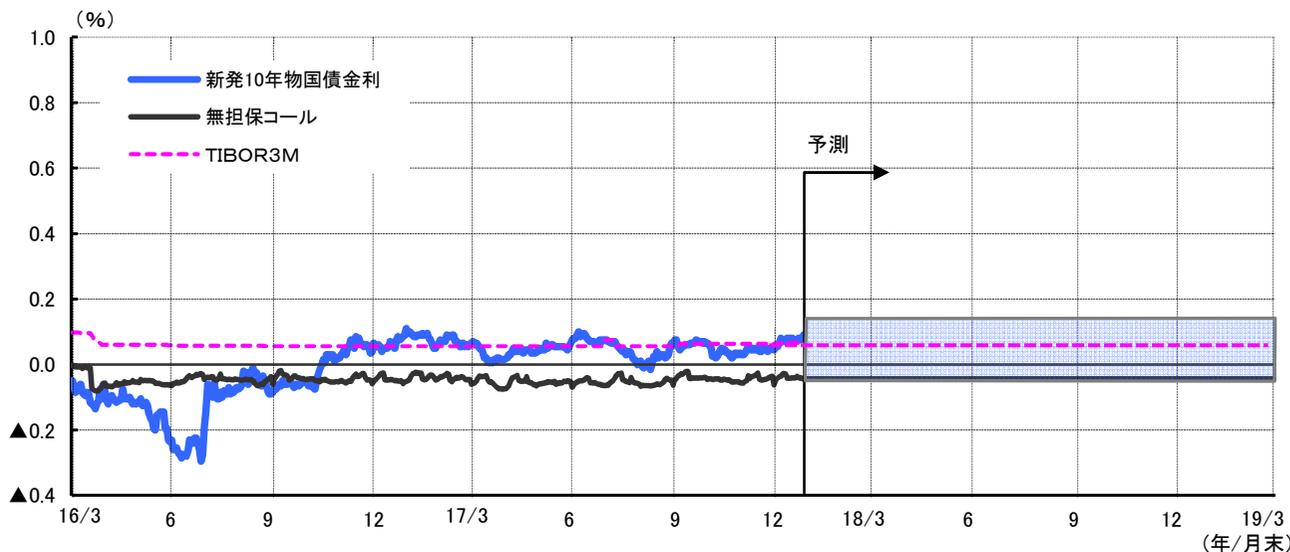
(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。

日銀の景気・物価見通し(前年度比)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2017年度	+1.8~+2.0 <+1.9>	+0.7~+1.0 <+0.8>
10月時点	+1.7~+2.0 <+1.9>	+0.7~+1.0 <+0.8>
2018年度	+1.3~+1.5 <+1.4>	+1.3~+1.6 <+1.4>
10月時点	+1.2~+1.4 <+1.4>	+1.1~+1.6 <+1.4>
2019年度	+0.7~+0.9 <+0.7>	+1.5~+2.0 <+1.8>
10月時点	+0.7~+0.8 <+0.7>	+1.5~+2.0 <+1.8>

(資料)日本銀行
(注1)<>内は中央値。
(注2)2019年度の消費者物価は、消費税率引き上げの影響を除く。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.81	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.95	135.27	23712.21	1882.57	1.30	1.73	2.57	25786.75	▲ 0.33	0.55